

The 18th Annual Meeting of the Japanese Society of Preventive Medicine

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-12-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Ichimura, Hiroshi メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00064510

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



『学会開催報告』

第18回日本予防医学学術総会

The 18th Annual Meeting of the Japanese Society of Preventive Medicine

第18回日本予防医学学術総会 大会長
金沢大学医薬保健研究域医学系
市 村 宏

2021年6月26日(土)、27日(日)に、金沢大学十全講堂・G棟第3講義室とオンラインのハイブリッド形式で、第18回日本予防医学学術総会を開催しました。

日本予防医学会は、代替医療を含む包括的な予防医学・予防医療の発展だけでなく、予防医療普及のためのシステム構築と、疾病予防や慢性疾患管理において「栄養、運動、メンタル等幅広い領域」で専門的かつ、きめ細やかな個人指導を提供できる人材育成を目指しています。1年に1度、公衆衛生学、予防医学、疫学および運動や栄養、免疫、メンタルヘルスの領域の医師、保健師、看護師、産業カウンセラー、行政関係者、臨床は基礎部門の研究者など幅広い分野の医薬保健関係者が集い「予防医学に関する研究者がその研究成果の発表、知識の交換・普及、情報等の提供を行い、斯界の発展に寄与すること」を目的に学術総会を開催しています。金沢での開催は、2010年(大会長 故濱田潤一郎教授)、2015年(同 中村裕之教授)に続いて3回目となりました。

本学会では「健康長寿に向けての予防医学」をメインテーマに掲げ2019年には日本人男性の平均寿命は81.41歳、女性の平均寿命は87.45歳、ともに過去最高となり、いまや「人生100年時代」が現実味を帯びてきました。令和の時代には、平均寿命のみならず「健康寿命」すなわち“日常生活に制限のない期間”をいかに延ばすかが大きな課題です。

学会1日目、感染症シンポジウムでは「高齢者の感染予防」石崎有澄美先生(金沢大学)、「高齢者の口腔ケアと長寿」岡本成史先生(金沢大学)にお話をいただき、口腔ケアが元気高齢者の養成に大きく貢献できること、次いで、メンタルヘルスシンポジウムでは、西山正章先生(金沢大学)「自閉症は大人になっても治せるか?」として、成体期におけるミエリン形成の促進が自閉症に関連した行動異常に対する潜在的な治療戦略の一つとなる可能性を、また小山善子先生(石川産業保健総合支援センター)「高齢者のうつ予防」として、高齢者の社会心理的支援、生活習慣病予防対策(食事、運動、睡眠など)の重要性についてご講演頂きました。

特別講演ならびに市民公開講座では、「腸内細菌と長寿」として、腸内フローラ研究の第一人者である神谷茂名誉教授(杏林大学)にオンラインで、腸内細菌の研究

の歴史や基礎的知見、腸内細菌叢と加齢・長寿との関連について、最新の論文の紹介と考察をご講演頂きました。次いで、やましたひでこ氏(一般財団法人 断捨離®代表)に「断捨離～引き算の美学～」として、モノとの対話を通し、モノへの執着を捨て必要のないモノを手放していくことで、本当に自分にとって必要なモノや本当に価値のあるモノに気づくことについて、最後に藤原勝夫教授(金沢学院大学)に「運動と長寿」として、ロコモティブシンドロームやフレイルの予防につながる運動歩行の研究成果についてお話を頂きました。その後、大学院生や若手研究者による一般演題の口演発表があり(10題)、またオンライン上でのポスター発表(10題)も行いました。

学会2日目の教育講演では「新時代の高血圧対策」此下忠志先生(福井大学)、「職場における運動指導」勝村俊仁先生(戸田中央総合病院)、「生活習慣病に対するオンライン保健指導」米田 隆先生(金沢大学)、「職場における環境化学物質のリスクアセスメント」柳澤裕之先生(東京慈恵会医科大学)、「産業保健における統計活用」中村裕之先生(金沢大学)、「職場における慢性腎疾患/糖尿病対策」原章規先生(金沢大学)にお話を頂き、最後に大会長の市村が「新型コロナウイルス感染症対策」について講演を行いました。

この2日間は、多方面から生活習慣の改善(運動)や生活習慣病(高血圧、糖尿病、慢性腎疾患)、産業衛生に関する最新の情報を伺い、今後の予防医学の実践・教育・研究に役立つ情報を大いに学ぶことが出来ました。各セッションをご担当頂きました座長ならびに演者の先生方に、心より感謝とお礼を申し上げます。

一般参加、招待者、市民の方、また日本医師会生涯教育研修や産業医研修の方など、延べ179名の参加を得て、現地参加者が多かったものの、全体の4割はオンラインで参加され、そのほとんどが石川県外在住の方でした。オンライン開催により遠隔地の方も気軽に参加できる、という新しい可能性がうかがえた学会となりました。

最後になりましたが、本研究会の開催に当たり、金沢大学十全医学会のご後援、関係各位のご支援を賜りましたことを、深謝申し上げます。

